

科目名 「 歯科補綴学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	河相 安彦
科目ナンバリング	C-7-④-I-06	
単位数	2	
学修目標 (G I O)	歯の欠如や歯列の欠損の補綴物、補綴物の管理や清掃法、補綴的介入の功罪、身体機能との関係 を理解するために、歯科衛生士として求められる補綴学の知識を学び、補綴治療が口腔と全身の 機能、さらに心の健康との関連を修得する。	
担当教員	クラウンブリッジ補綴学： *小見山 道、*若見 昌信、*増田 学 有床義歯補綴学講座： *中田 浩史	
教科書	新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科補綴学 (クインテッセンス出版株式会社) や プリン	
参考図書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 (医歯薬出版)、補綴診療補助 (書 林)、クラウンブリッジ実習マニュアル臨床編 (医歯薬出版)、小歯科カラーアトラスクラウン ブリッジ補綴学 (学建書院)、パーシャルデンチャーテクニック第5版 (医歯薬出版)、歯学生 のパーシャルデンチャー (医歯薬出版)、図説無歯顎補綴学 (学建書院)	
評価方法 (E V)	歯科補綴学の評価方法は平常試験-1回目：20%、平常試験-2回目：20%、定期試験：6 0%の合計、および履修態度を含めた総合的評価によって決定する。平常試験における再試験は 行わない。ただし、最終評価が60点に達しない場合には、追再試験期間で全範囲における再試 験を行う。	
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科医師 (歯科衛生士) の実務経験を活かし、歯科補綴物の材料や製作方法や術式だけではな く、患者に対する口腔衛生、機能管理の重要性および補綴的介入がもたらす医学的利益と為害性 にも目を向け、歯科補綴学の理解を深めて欲しい。 Webclassに臨床に関連する動画や過去の国家試験過去問を配信しているので随時閲覧してくださ い。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6 (火)	補綴治療における 診療補助 摂食嚥下について 診療時の共同動作 補綴治療に使用する 印象材、ワックス、 セメントおよび石膏 などの材料について	<p>【授業の一般目標】 授業の進め方や評価方法についてガイダンスを行う。また、 歯科補綴治療に使用機材と材料（印象材、セメント、石膏 等）の使用法およびその特性について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 授業の進め方と評価方法を理解する。 歯科診療の補助と歯科診療の介助を述べる事が出来る。 フォーハンドシステムの基本動作を説明できる。 診療に応じた器具の受け渡しを説明することができる。 診療に応じたバキューム操作を説明することができる。 診療補助時に各器材と材料の使用法および特性を説明する ことができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診 療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 講義・WebClass</p>	*中田 浩史
第2回 4/13 (火)	歯科補綴治療の意 義と目的 補綴治療における 診療補助 歯科補綴治療の基 礎知識	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学で補綴治療の意義と目的を理解する。適切な補綴 治療の診療補助を行うための基礎知識を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 歯科補綴治療の意義と目的を理解することができる。 歯科補綴治療における歯科衛生士の業務を理解する事がで きる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診 療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 講義・WebClass</p>	*若見 昌信
第3回 4/20 (火)	歯科補綴治療の基 礎知識 顎関節とその異常 CAD/CAMシステム の特徴	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学で補綴治療の基礎知識を理解する。生体における 顎関節構造、下顎運動および咬合に関する基礎知識を理解す る。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 咬合とその関連事項について理解することができる。 下顎運動の診査と記録方法について理解することができる。 顎関節の分類とその異常を理解することができる。 CAD/CAMの特徴と臨床手順を理解することができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診 療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 講義・WebClass</p>	*若見 昌信

<p>第4回 4/27 (火)</p>	<p>クラウン (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学におけるクラウン治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用機材と材料について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 補綴装置の種類と適応を説明できる。 補綴治療に用いられる器材について説明できる。 クラウンの臨床ステップおよび技工操作を理解することができる。 前処置と印象採得の概要を理解することができる。 支台築造の種類と特徴・適応を理解することができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分, 予習内容：WebClass 復習時間： 60分, 復習内容：授業に関連する過去問</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義・WebClass</p>	<p>*増田 学</p>
<p>第5回 5/11 (火)</p>	<p>クラウン (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学におけるクラウン治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用機材と材料について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 咬合採得の目的と方法を理解することができる。 咬合採得する下顎位と咬合採得法を概説できる。 仮着・装着の材料と方法を理解することができる。 クラウンの修理、除去を理解することができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分, 予習内容：WebClass 復習時間： 60分, 復習内容：授業に関連する過去問</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義・WebClass</p>	<p>*増田 学</p>
<p>第6回 5/18 (火)</p>	<p>ブリッジ</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学におけるブリッジ治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用機材と材料について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ブリッジの構成と特徴を理解することができる。 支台装置とポンティックの選択や特徴を説明できる。 ブリッジの臨床ステップの概要を理解することができる。 ブリッジの修理、除去を理解することができる。 クラウンとブリッジで装着後の注意、口腔清掃指導を述べる ことができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分, 予習内容：WebClass 復習時間： 60分, 復習内容：授業に関連する過去問</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義・WebClass</p>	<p>*増田 学</p>

<p>第7回 5/25 (火)</p>	<p>平常試験 (1) および解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 第1回から第6回までの授業内容から関連する問題を出題 (国家試験過去問または改変問題を50問・試験時間40分)。試験後に解説講義を行う。マークシート方式を予定します。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 正解した問題は理解を深め、間違えた問題に対しては更なる学修により理解を深める。 【準備学修項目・時間】 配布資料、教科書およびWebClassにあげる資料より第1回から第6回までの授業内容について学修しておく。 予習時間：120分、予習内容：配布資料、教科書およびWebClass 復習時間： 60分、復習内容：不正解だった問題 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 平常試験・解説講義</p>	<p>*小見山 道 *若見 昌信 *増田 学</p>
<p>第8回 6/1 (火)</p>	<p>全部床義歯 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における全部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 全部床義歯の適応と目的を理解することができる。 補綴治療に用いられる器材について説明できる。 全部床義歯の臨床ステップを理解することができる。 全部床義歯の構成要素 (義歯床、人工歯) を理解することができる。 【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義・WebClass</p>	<p>*中田 浩史</p>
<p>第9回 6/8 (火)</p>	<p>全部床義歯 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における全部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 前処置と印象採得の概要を理解することができる。 咬合採得の目的と方法を理解することができる。 【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義・WebClass</p>	<p>*中田 浩史</p>

<p>第10回 6/15 (火)</p>	<p>全部床義歯 (3)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における全部床義歯治療で適切な診療補助が行えるようになるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 全部床義歯の装着と調整について理解することができる。 全部床義歯のリライン、リベースおよび修理を理解することができる。 装着後の注意、義歯の管理および口腔清掃指導を述べることができる。 【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義・WebClass</p>	<p>*中田 浩史</p>
<p>第11回 6/22 (火)</p>	<p>局部床義歯 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における局部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順及び使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 局部床義歯の適応と目的を理解することができる。 補綴治療に用いられる器材について説明できる。 局部床義歯の臨床ステップを理解することができる。 局部床義歯の分類 (部位、Kennedy、欠損様式および負担様式) を理解することができる。 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義・WebClass</p>	<p>*中田 浩史</p>
<p>第12回 6/29 (火)</p>	<p>局部床義歯 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における局部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順及び使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 前処置と印象採得の概要を理解することができる。 咬合採得の目的と方法および材料を理解することができる。 咬合採得する下顎位と咬合採得法を概説できる。 局部床義歯の構成要素 (義歯床、人工歯、連結子、支持装置 (レスト)、維持装置) を理解することができる。 排列および試適を理解することができる。【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義・WebClass</p>	<p>*中田 浩史</p>

<p>第13回 7/6 (火)</p>	<p>特別な名称をもつ義歯 義歯の修理、ろう着および調整 在宅訪問診療と口腔衛生指導（補綴関連）-（1）</p>	<p>【授業の一般目標】 補綴治療で適切な診療補助が行えるために、種類、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標（SBOs）】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 本義歯、顎義歯、即時義歯および治療義歯等の特別な名称を持つ義歯について目的と特徴を理解することができる。 アタッチメントおよびインプラントを応用した義歯について理解することができる。 【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 講義・WebClass</p>	<p>*中田 浩史</p>
<p>第14回 7/13 (火)</p>	<p>特別な名称をもつ義歯 義歯の修理、ろう着および調整 在宅訪問診療と口腔衛生指導（補綴関連）-（2）</p>	<p>【授業の一般目標】 補綴治療で適切な診療補助が行えるために、種類、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標（SBOs）】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 咬合器の種類について説明することができる。 金属床義歯について理解することができる。 在宅訪問診療、口腔衛生指導および補綴処置後の患者指導を述べる事ができる。 【準備学修項目・時間】 教科書やWebClassにあげる資料より歯科補綴治療における診療補助および材料について学修しておく。 予習時間： 60分、予習内容：WebClass 復習時間： 60分、復習内容：授業に関連する過去問 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 講義・WebClass</p>	<p>*中田 浩史</p>
<p>第15回 7/20 (火)</p>	<p>平常試験（2） および解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 第8回から第14回までの授業内容から関連する問題を出題（国家試験過去問または改変問題を50問・試験時間40分）。試験後に解説講義を行う。マークシート方式を予定します。 【行動目標（SBOs）】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 正解した問題は理解を深め、間違えた問題に対しては更なる学修により理解を深める。 【準備学修項目・時間】 配布資料、教科書およびWebClassにあげる資料より第8回から第14回までの授業内容について学修しておく。 予習時間：120分、予習内容：配布資料、教科書およびWebclass 復習時間： 60分、復習内容：不正解だった問題 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 平常試験・解説講義</p>	<p>*中田 浩史</p>